

1. セミナー

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
<p>平成22年 5月21日 (金) 参加者 98名 A1</p>	<p>パーソナルゲノム時代の統合医療データベース戦略</p> <p style="text-align: center;">－演 題－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・オミックス情報に基づいた統合医療データベースー個別化医療の到来 ・多型データベースと個別化医療 ・循環器データベース構築による臨床研究の試み ・ヒト遺伝子変異データベースとHuman Variome Project ・医学クラウドによる医師連携網の構築 (医学サイネス) ・パーソナルゲノム時代のデータベース戦略 ・おわりに 	<p>東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部 教授 田中 博 大阪大学サイバーメディアセンター 特任教授 坂田 恒昭</p> <p style="text-align: center;">－講師－</p> <p>大阪大学サイバーメディアセンター 特任教授 坂田 恒昭 東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部 教授 田中 博 東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学 教授 徳永 勝士 東京大学健康医科学創造講座 特任助教 興梠 貴英 浜松医科大学光量子医学研究センター 教授 蓑島 伸生 理化学研究所生命情報基盤研究部門 部門長 豊田 哲郎 国立遺伝学研究所 副所長・教授 五條堀 孝 東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部 教授 田中 博</p>
<p>平成22年 10月22日 (金) 参加者 116名 A2</p>	<p>次世代シーケンサーが解明する新しい生命像ー 生命の分子レベルでの理解に向けてー</p> <p style="text-align: center;">－演 題－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・次世代シーケンサーの最近の動向と活用 ・ゲノムからメタゲノムへ ・高速シーケンシングが明らかにするイネの多様性 ・次世代シーケンサーによるトランスクリプトーム解析の新展開 ・次世代シーケンサーが開く新しい染色体研究 ・がんゲノム全解読から始まる新たながんの理解 ・おわりに 	<p>理化学研究所 オミックス基盤研究領域 領域長 林崎 良英 理化学研究所 オミックス基盤研究領域 プロジェクトディレクター 鈴木 治和</p> <p style="text-align: center;">－講師－</p> <p>理化学研究所オミックス基盤研究領域 プロジェクトディレクター 鈴木 治和 理化学研究所オミックス基盤研究領域 Piero Carninci 東京工業大学大学院生命理工学研究科 生命情報専攻 教授 黒川 顕 農業生物資源研究所基盤研究領域ゲノム情報研究 ユニット ユニット長 伊藤 剛</p> <p>理化学研究所オミックス基盤研究領域 プロジェクトディレクター 鈴木 治和</p> <p>東京大学分子細胞生物学研究所 教授 白髭 克彦 国立がん研究センターゲノム構造解析プロジェクト プロジェクトリーダー 柴田 龍弘 理化学研究所オミックス基盤研究領域 プロジェクトディレクター 鈴木 治和</p>
<p>平成22年 11月1日 (月) 参加者 140名 A3</p>	<p>精神疾患の分子的基盤</p> <p style="text-align: center;">－演 題－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・発達障害の分子的基盤 ・恐怖記憶形成分子・細胞機構 ・統合失調症の思春期発症の分子メカニズム 	<p>広島大学大学院医歯薬学総合研究科統合バイオ研究室 教授 内匠 透 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野 教授 西川 徹</p> <p style="text-align: center;">－講師－</p> <p>広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 内匠 透 富山大学大学院医学薬学研究部生化学講座 教授 井ノ口 馨 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・カルボニルストレス性統合失調症の病態と治療 ・統合失調症と多価不飽和脂肪酸 ・統合失調症の分子基盤 ・おわりに 	<p>教授 西川 徹 東京都精神医学総合研究所統合失調症研究チーム 研究ディレクター 糸川 昌成 理化学研究所脳科学総合研究センター分子精神科学研究チーム チームリーダー 吉川 武男 大阪大学大学院医学系研究科神経機能形態学講座 教授 遠山 正彌 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授 西川 徹</p>
<p>平成23年 1月21日 (金) 参加者 82名 A4</p>	<p>極性制御を介する細胞からの組織構築とその異常による病態</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・初期胚発生における細胞間接触・細胞極性Hippo経路の役割 ・イメージング技術を用いた細胞極性解析 ・細胞の極性輸送の異常による組織構築の異常と病態について ・細胞の極性、脱極性を介する上皮形態形成 ・正常上皮細胞と変異細胞の相互作用 ・神経組織の極性制御とその異常による病態 ・おわりに 	<p>大阪大学大学院医学系研究科分子病態生化学 教授 菊池 章 熊本大学発生医学研究所生殖発生分野 教授 山田 源</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 菊池 章 熊本大学発生医学研究所分化制御分野 教授 佐々木 洋 京都大学大学院医学研究科 講師 清川 悦子 大阪大学大学院医学系研究科 教授 原田 彰宏 大阪大学大学院医学系研究科 教授 菊池 章 北海道大学遺伝子病制御研究所 教授 藤田 恭之 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 貝淵 弘三 熊本大学発生医学研究所 教授 山田 源</p>
<p>平成23年 2月18日 (金) 参加者 160名 A5</p>	<p>免疫・感染症シリーズ第3回「免疫応答の生体イメージング」</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・骨組織のライブイメージングによる破骨細胞動態の解析 ・皮膚免疫イメージング ・リンパ節における分化特異的なリンパ球移動のイメージング ・がん細胞とがん微小環境のイメージング ・リンパ節イメージング—Zooming in and out the lymph node— ・脂肪組織と慢性炎症の生体イメージング ・おわりに 	<p>大阪大学微生物病研究所 免疫不全疾患研究分野 教授 木下 タロウ 大阪大学微生物病研究所 感染病態分野 教授 熊ノ郷 淳</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>大阪大学微生物病研究所 免疫不全疾患研究分野 教授 木下 タロウ 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 准教授 石井 優 京都大学大学院医学研究科 皮膚科 准教授 梶島 健治 理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター免疫細胞動態ユニット ユニットリーダー 岡田 峰陽 愛媛大学大学院医学系研究科分子病態医学分野 教授 今村 健志 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 研究員 鈴木 一博 東京大学大学院医学系研究科循環器内科 特任助教 西村 智 大阪大学微生物病研究所 感染病態分野 教授 熊ノ郷 淳</p>

2. 技術講習会

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師・協賛企業
<p>平成22年 9月2日 (木) 参加者37名 9月3日 (金) 参加者20名 於：千里ライ</p>	<p>プロテオミクス技術講習会「MALDI, ESI, MS/MS, ナノLC、データ解析」</p> <p style="text-align: center;">—技術解説—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 蛋白質の質量分析とプロテオミクス 2. ナノLC/ESI-MS 3. ナノLC/MALDI-MS 	<p>大阪大学蛋白質研究所・発現プロテオミクス総合研究センター 教授 高尾 敏文</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>大阪大学蛋白質研究所・発現プロテオミクス総合研究センター 教授 高尾 敏文</p>

フサイエンス センタービル 6階 603- 604号室、 大阪大学蛋白 質研究所 G52	4. データの実際と読み方 —実習— 1. MS測定のための試料前処理 2. MALDI-MS, ESI-MS 3. ナノLC 4. データ解析、データベース探索	大阪大学蛋白質研究所・発現プロテオミクス総合 研究センター 准教授 奥村 宣明 セラバリュース株式会社 福田 宏之 —協賛企業— 株式会社エービー・サイエックス マトリックスサイエンス (株) 株式会社セラバリュース
平成22年 7月16日 (金) 参加者32名 於：千里ライ フサイエンス センタービル 6階 千里ル ーム G53	ポストトランスクリプトーム時代の新たな戦略 —技術解説— 1. ポストトランスクリプトーム時代の現状 2. 公共オミクスデータベースの活用 3. IPAによるバイオリジカルナレッジの活用 4. NextBio検索エンジンの拓く可能性 —実習— 1. Subioソフトウェアの操作実習 2. IPAソフトウェアの操作実習 3. NextBio検索エンジンの操作実習	大阪大学微生物病研究所DNAチップ開発センター センター長 野島 博 —講師— 大阪大学微生物研究所 DNAチップ開発センター長 野島 博 株式会社Subio 田部 暁郎 トミーデジタルバイオロジー株式会社 田中 英夫 セレスバイオサイエンス株式会社 黒田 康弘 —協賛企業— トミーデジタルバイオロジー株式会社 セレスバイオサイエンス株式会社 株式会社Subio

3. 新適塾

(1) 未来創薬への誘い コーディネーター 大阪大学大学院薬学研究科 薬剤学分野 中川 晋作
大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野 小比賀 聡

開催日	演題	講師
第10回 平成22年 4月28日 (水) 参加者123名	化学プローブの精密設計による、生物解析・がん医療の新展開	東京大学大学院医学系研究科 生体物理医学専攻 医用生体工学講座 生体情報学分野 教授 浦野 泰照
第11回 平成22年 7月22日 (木) 参加者79名	海から医薬品シーズを探す	兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科 教授 青木 俊二
第12回 平成22年 10月14日 (木) 参加者96名	遺伝子導入技術を駆使したヒトiPS細胞の分化制御 —ヒトiPS細胞から肝細胞への高効率分化誘導技術の開発—	大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野 教授 水口裕之
第13回 平成23年 1月24日 (月) 参加者79名	スプライシング暗号を解く ：RNA病など不治の病に対する創薬	京都大学大学院医学研究科 生体構造医学講座 教授 萩原 正敏

(2) 脳と心の神秘に迫る コーディネーター 大阪大学大学院生命機能研究科脳システム構築学研究室 村上 富士夫
大阪大学大学院生命機能研究科 認知脳科学研究室 藤田 一郎

開催日	演題	講師
第10回 平成22年 5月18日 (火) 参加者108名	クオリア？～心の主観と行動／神経の客観	カリフォルニア工科大学生物学部／計算神経系 教授 下條 信輔
第11回 平成22年 10月1日 (金) 参加者78名	シナプスのイメージングにより脳と心のしくみを探る	東京大学大学院医学系研究科神経細胞生物学分野 教授 岡部 繁男
第12回 平成22年 12月3日 (金) 参加者85名	システム神経科学の新しい方法論	(株)国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 所長 川人 光男

(3) 難病への挑戦

コーディネーター

大阪大学大学院医学系研究科 分子神経学

山下 俊英

大阪大学大学院医学系研究科 分子病態生化学

菊池 章

開催日	演題	講師
第2回 平成22年 5月25日(火) 参加者36名	ピロリ菌と胃癌	東京大学大学院医学系研究科・医学部 病因・病理学専攻 微生物学講座 教授 畠山 昌則
第3回 9月15日(水) 参加者104名	アルツハイマー病 根本治療薬の開発の可能性を探る	京都大学大学院薬学研究科 最先端創薬研究センター 客員教授 杉本 八郎
第4回 11月18日(木) 参加者72名	幹細胞制御とがん	金沢大学がん研究所 がん幹細胞研究プログラム 遺伝子・染色体構築研究分野 教授 平尾 敦
第5回 平成23年 2月3日(木) 参加者70名	2型糖尿病の膵β細胞不全の病態と新規治療法の開拓	順天堂大学大学院 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝

4. 千里ライフサイエンス市民公開講座

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
第57回 平成22年 5月22日(土) 参加者 176名	加齢による眼・耳の病気と最先端治療 —演 題— ・開催にあたって ・眼疾患に対する最先端治療 ・加齢黄斑変性と近視性網膜疾患に対する最新の治療 ・夢の鼓膜再生医療	国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎 (財)住友病院 院長 松澤 佑次 —講師— (財)住友病院 院長 松澤 佑次 大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学 教授 西田 幸二 大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学 講師 生野 恭司 (財)田附興風会北野病院耳鼻咽喉科・頭頸部 外科部長 金丸 眞一
第58回 平成22年 9月25日(土) 参加者 223名	脳卒中の予防と最新治療—後遺症、ぼけを防ぐために— —演 題— ・開催にあたって ・脳卒中の予防について：内科の立場から ・脳卒中の外科治療—健康長寿の達成のために ・脳卒中リハビリ医療の動向とチャレンジ	国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎 (財)住友病院 院長 松澤 佑次 —講師— 千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岸本 忠三 国立病院機構大阪医療センター 副院長 恵谷 秀紀 国立循環器病研究センター脳神経外科 部長 飯原 弘二 兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 主任教授 道免 和久
第59回 平成23年 1月29日(土) 参加者 220名	泌尿器科領域の病気と最新医療 —演 題— ・開催にあたって ・排尿障害の診断と治療 ・変わりつつある腎癌の治療	国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎 (財)住友病院 院長 松澤 佑次 —講師— 千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岸本 忠三 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 助教 高尾 徹也 神戸大学大学院医学研究科外科系講座腎泌尿器科学分野 准教授 三宅 秀明

	・増えつつある前立腺がん—その診断と治療—	大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 教授 野々村 祝夫
--	-----------------------	-----------------------------------

5. 小学生高学年生向け「小学生サイエンススクール」

回数	開催日		参加児童
第1回	平成22年 8月12日(木) 中止 平成22年 11月13日(土) に延期	コーディネーター：日野林 俊彦(大阪大学大学院人間科学研究科 教授) 大阪大学豊中キャンパス 大学教育実践センター 実験棟 講師 【回転運動を楽しもう】 藤田 佳孝(大阪大学大学院理学研究科 准教授) 【シャボン玉—表面張力の不思議】 吉永 隆夫(大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授)	42名
第2回	平成22年 8月26日(木)	コーディネーター：日野林 俊彦(大阪大学大学院人間科学研究科 教授) 大阪大学豊中キャンパス 大学教育実践センター 実験棟 講師 【身の回りのものの科学】 佐藤 尚弘(大阪大学大学院理学研究科 教授) 【光で遊ぼう】 木下 修一(大阪大学大学院生命機能研究科 教授)	33名

6. 高校生対象「ライフサイエンスセミナー：研究者と語ろう」

コーディネーター 大阪大学大学院生命機能研究科 米田 悦啓

開催日	演題	講師	参加者
平成22年 6月2日(金)	大阪府高等学校生物教育研究会総 会記念講演会 ・細胞の世界	大阪大学生命機能研究科 教授 米田 悦啓	40名
平成22年 7月30日(金)	第3回ライフサイエンスセミナー 研究者と語ろう —講演会— ・はじめに ・疲労やストレスを基礎医学の目 で研究する ・抗体医薬：バイオテクノロジー が生み出した新しいクスリ ・脳の中のグリア：ニューロンを 制御する細胞 —討論会—	大阪大学生命機能研究科 教授 米田 悦啓 大阪市立大学大学院医学研究科 教授 木山 博資 大阪市立大学大学院工学研究科 准教授 立花 太郎 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授 中村 洋一	62名

7. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	演題	講師	参加者
212回 平成22年 4月16日(金)	がん—ホウ素中性子補足法の最近 のシンポ	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授 切畑 光統	45名
213回 平成22年 6月3日(木)	良い肥満・悪い肥満 —美味しく食べて健康に—	財団法人 住友病院 院長 松澤 佑次	110名
214回 平成22年 6月30日(水)	エコ住宅・エコ生活のすすめ —わが家でできる地球温暖化 防止—	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所 (CEL) 顧問 濱 恵介	48名
215回 平成22年	「ゾウの時間ネズミの時間」 から現代社会を考える	東京工業大学大学院生命理工学研究科 教授 本川 達雄	65名

7月23日(金)			
216回 平成22年 8月27日(金)	クジラが目指す二つの道	国立大学法人東京海洋大学海洋科学部 教授 加藤 秀弘	61名
217回 平成22年 9月16日(木)	「くすり」と賢く付き合うために	田辺三菱製薬株式会社 くすり相談センター 大戸 恵美子	52名
218回 平成22年 10月29日(金)	古代の薬猟(くすりがり)と医薬	京都教育大学名誉教授 檀原考古学研究所指導研究員 和田 萃	50名
219回 平成22年 11月17日(水)	カイコで薬をつくる	京都工芸繊維大学応用生物学部門 教授 森 肇	49名
220回 平成22年 12月8日(水)	和歌の家・京都冷泉家 冷泉家800年の奇跡	(財)冷泉家時雨亭文庫理事長 冷泉家25代当主 冷泉 為人	57名
221回 平成23年 1月19日(水)	「おいしさ」とは?人はどうして おいしいと感じるか	京都大学 大学院農学研究科 教授 伏木 亨	106名
222回 平成23年 2月16日(水)	南極越冬隊員の医療活動 —氷とオーロラの世界で—	多根総合病院外科 外科医長 小川 稔	68名
223回 平成23年 3月25日(金)	科学と仏教の対談「生命観について」	花園大学文学部 教授 佐々木 閑 国立遺伝学研究所 斎藤 成也	69名

8. 産と学をつなぐ「免疫の会」改め「SENRIの会」第1回

開催日：平成22年12月24日(金)

<p><u>参加者リスト</u></p> <p>(学)</p> <p>井垣 達吏(神戸大学大学院医学研究科 特任准教授) 大塚 基之(東京大学医学部附属病院 消化器内科 助教) 櫛引 俊宏(大阪大学大学院工学研究科 フロンティア研究センター 特任講師) 竹内 純(東京大学分子細胞生物学研究所 エピゲノム疾患研究センター 准教授) 田中 秀明(大阪大学蛋白質研究所 蛋白質構造生物学研究部門 助教) 西野 邦彦(大阪大学 産業科学研究所 感染制御学研究分野 准教授) 古屋敷 智之(京都大学大学院医学研究科 神経・細胞薬理学分野 助教) 柳田 素子(京都大学次世代研究者育成センター「白眉プロジェクト」 特定准教授)</p> <p>(産)</p> <p>松田 昭生(旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター センター長) 加藤 正夫(アステラス製薬株式会社 御幸が丘研究センター 専務理事) 前田 典昭(アステラス製薬株式会社 研究推進部 課長) 長洲 毅志(エーザイ株式会社 CSOグループ 理事) 丸山 隆幸(小野薬品工業株式会社 研究本部 研究企画室 室長) 萩谷 洋(小野薬品工業株式会社 研究本部 研究企画室 主任研究員) 野田 倫(株式会社 三和化学研究所 研究開発戦略センター 執行役員 研究開発企画部長) 渡邊 信英(株式会社 三和化学研究所 探索研究所 三重研究パーク探索研究所長) 山野 佳則(塩野義製薬株式会社 医薬研究本部 創薬・疾患研究所 所長) 内藤 陽(塩野義製薬株式会社 医薬研究本部 研究戦略オフィス 主幹研究員) 荒木 明子(塩野義製薬株式会社 医薬開発本部 戦略企画部門) 清藤 宏二(第一三共株式会社 研究開発本部 研究開発企画部 主査) 柳 和則(大日本住友製薬株式会社 ゲノム科学研究所 ゲノム科学第1研究部長) 土田 敦之(大日本住友製薬株式会社 研究本部 薬理研究所 グループリーダー) 古矢 修一(武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 リサーチフェロー) 玉谷 卓也(武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 主席部員) 林 文彦(武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 課長代理) 岡田 光浩(田辺三菱製薬株式会社 研究本部・研究企画部 主幹) 岡部 尚文(中外製薬株式会社 研究本部 執行役員 研究本部長)</p>

服部 有宏 (中外製薬株式会社 研究本部 部長)

コーディネーター

岸本 忠三 千里ライフサイエンス振興財団 理事長

北村 幸彦 千里ライフサイエンス振興財団 研究助成選考委員会委員長

研究紹介

- ・ ショウジョウバエモデルを用いた腫瘍悪性化機構の遺伝学的解析 (井垣 達吏)
- ・ 持続炎症に続発する発癌原因としてのmicroRNA機能不全の制御法の探索的研究 (大塚 基之)
- ・ 光技術を用いた新しい細胞機能制御方法 (榎引 俊宏)
- ・ 心臓前駆・幹細胞誘導因子とリプログラミング因子 (竹内 純)
- ・ 謎の巨大留意ボルトの全立体構造情報の利用～機能解明とDDSへの応用を目指して～ (田中 秀明)
- ・ 多剤耐性菌感染症克服を目指した新規治療戦略 (西野 邦彦)
- ・ ストレス応答におけるプロスタグランジンE2とEP1受容体の役割 (古屋敷 智之)
- ・ 新規BMPアンタゴニストUSAG-1の同定とその腎障害進展機構の解明 (柳田 素子)